

代田区民センターだより

No. 57 2026年1月 代田区民センター運営協議会 電話 6407-8408

新年のご挨拶

代田区民センター運営協議会

会長 梅垣 直

新年明けまして

おめでとうございます。

平素より当運営協議会の活動に対する多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、従来からの各種イベントに加え、代田区民センターまつりにおいて新たに舞台芸術発表会を開催し、大好評をいただきました。

これは10周年記念事業にて実施いたしました発表会を拡充し、当区民センターをホームグラウンドとしている活動団体様より参加者を募集して開催したものです。

今後とも地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、コミュニケーションづくりの一助となるべく様々なイベントを企画し開催してまいります。

今年も素晴らしい一年になりますように、区民センターのご利用者および近隣住民の皆様の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第10回

★代田区民センターまつり★

☆作品展示会・舞台芸術発表会

10月18日(土)・19日(日)

10月18日、19日の2日間、代田区民センターまつりが開催されました。1階ロビーでの作品展示会は29回目を迎えます。代田区民センターで活動されている団体による書道、絵画、俳句、フラワーアレンジメントなど豊かな表現の作品が飾られ、たくさんの方に見ていただくことができました。ご参加の方には他団体との



交流の場ともなり、久しぶりの再会に会話にもぎやかに弾む様子でした。

地下2階の多目的室、音楽室では初めての開催となる舞台芸術発表会を行いました。民族舞踊、コーラス、和太鼓やギターの楽器演奏、ダンスや朗読など多彩な演目が揃い、全身で表現する舞踏や華やかな衣装、迫力ある楽器の音を楽しみ、一緒に歌い、ダンスでは次の出演を待つ小学生の飛び入り参加でも盛り上がりました。日頃ご利用いただいている団体の方に発表の機会としてご利用いただけたらと始まった発表会。

ご出演の方にもご観覧の方にも「楽しかった」と多く声を掛けていただいたことが何よりの成果となりました。センターにとっても日頃お会いする皆さまのご活動を知る機会となり大変有意義な時間でした。今回の経験を活かし、作品展示会、舞台芸術発表会が、代田区民センターをご利用いただく方々の表現と出会いの場として続いていければと考えております。

(K・A)

☆お年寄りに学が集い

10月19日(日)

白鷺会・わくわく委員・コミュニティ委員

19日にはチラシや新聞で折る紙鉄砲や折り紙など、昔から続く遊びを学ぶ「お年寄りに学ぶつどい」が開かれ、子ども達が真剣に教わる姿が



多く見られました。

18日は図書館主催、秋元正美様による講演会「代田の戦時と戦災」に多くの方が参加され、19日は雨も混じる天気でしたが駐車場、2階、児童館にまたがる児童館まつりがあり、食べ物やゲーム、それぞれのお店がたくさんの子どもたちで大盛況となっていました。

10回目となる代田区民センターまつりにご参加、ご協力いただきました皆さま、ご来館の多くの方々に感謝申し上げ、また次の開催に向けて繋げていきたいと思っております。(K・A)

コミュニティ教室

☆文学教室

絵本美術館めぐり

7月30日(水)

講師 生田 美秋

(高志の国文学館事業部長)

栃木県那須「いわむらかずお絵本の丘美術館」文学教室に参加した。いわむらかずおって誰？妻が「14ひきのひっこし」の作者よ。それは読んだことあるかな。そんな程度で参加した。これが一転、目から鱗。終了時には惚れていた。そんな一日の報告です。

往路の車内はいわむらかずお絵本講座の開講。講師は絵本のエキス



パート生田美秋先生。14ひきシリーズはパリの書店で販売されている。子供は14ひきの名前をすぐに覚え識別できる。などの前置きがあり、代表的な14ひきシリーズの朗読と解説がスタートする。

事前に用意された絵本が回覧され、参加者は絵本を見ながら先生の朗読を聞く。耳と目ですっかりいわむらかずおワールドにひたっている。バスは美術館に到着した。

美術館は那須の田園風景が一望できる里山にあり、都内の喧騒を忘れ館内へ入る。

まずはいわむらかずお先生のご長男、岩村康一朗さんの講話。幼い頃

の思い出や創作活動の一面を話される。そして、いよいよ展示会場へ。これが圧巻。頭の中でイメージするのではなく、実際に各地を巡り、自然を体感して書いた作品が展示されている。

オリジナル画、精巧な複製画、クロッキー帳、デッサン画。時間を忘れて見入ってしまった。

帰路の車内講座は生田先生の朗読。司馬遼太郎や、普段接する機会の少ない中川一政、吉田秀和のエッセーを聴講しつつ一路新代田に向かった。

多くの新しい発見と驚きのあつた一日でした。生田先生と企画、実施されたスタッフの皆様により感謝します。(K・U様より寄稿)



☆実技講座
〜折り紙づくり〜

8月24日(日)

講師 佐藤 由美子

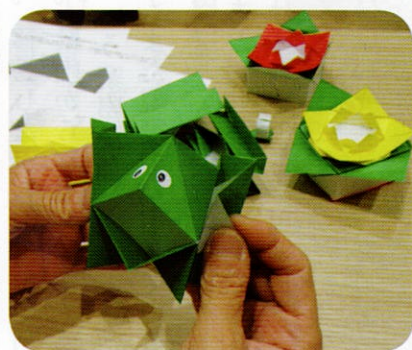
(折紙講師)

8月24日、実技講座「折り紙教室」が開催されました。今回はバラと葉っぱを組み合わせた箱と、カエルが6つ並ぶ「むかえる」を教えていただきました。スクリーンに映る佐藤先生の手元を見ながら折り進め、わからない所は先生や委員の方々がサポートされます。皆さま集中し静かだった会場ですが、次第にお近くの方との会話がが増えて賑やかになりました。

別々に折ったバラと葉っぱを組み合わせてふたに仕



上げ、先生が折ってきてくださった身に重ねると華やかなバラの箱が完成しました。



箱の丁寧な復習が終わると、次はカエルです。折り線をしっかりつけるのも大事と教わりながら順に折っていくと、大きな口のカエルができました。終了時には各机にピンクや黄色、カラフルなカエルが連なっていました。佐藤先生から嬉しいお土産もいただきました。笑顔の終了時間となりました。ご参加の皆さまからは「外国へ行く孫に教えたい」「手を動かしながら他の方と交流できて良かった」など嬉しいお声をいただくことができました。

(K・A)

☆秋の植物教室

〜秋の赤城自然園 植物探訪〜

10月7日(火)・8日(水)

講師 せたがや自然環境保全の会

秋の赤城自然公園に3倍もの倍率を越え参加。

区民センター、自然環境保全会の深い配慮の上の企画である事が事前学習の参加により理解を深め、バスは出発

致しました。多くの高齢者は、脚に自信がなくなり、また親しかった方との別れも経験している者には、バスの旅、そして各自お弁当を持参、だんだんに親しみも深まりこのバス企画を充実した心でいっぱいになり、参加者の笑顔が企画の素晴らしいさを証明していました。又、事前講義の「種の旅立ち」では、2000年以上前の種が、土の中で、遺伝子情報のように芽生えるのを待っていると、川内野先生から学びました。

私達のこうした体験も、地域活動の伝統の種として、高齢化社会へのフレイル予防と共に、次世代に渡していく思いを持ち、新たな自然への受け継ぎに思いをはせながら、代田住民で良かったと帰路につきま

した。自然公園の素晴らしさは、言葉では

足りず、写真とおすすめする事で筆を置かせて頂きます。拝(R・O様より寄稿)



シュウメイギク



シラネセンキュウ



オトコエシ

☆美術講座

〜陶芸美術館見学と絵付け体験〜

10月22日(水)・23日(木)

講師 吉河 歩香

(益子陶芸美術館 学芸員)

世田谷区在住20年以上にして初、区報『せたがや』で見つけたイベントに応募、当選して参加させていただきました。

1日目は座学で、「益子焼きの歴史と濱田庄司」について、益子陶芸美術館の吉河歩香先生からの講義を拝聴。恥ずかしながら10数年陶芸を趣味

味にしていたのに、益子と言うと陶器市の様子を雑誌で読むぐらいだったので、日用雑器から始まり、汽車土瓶作りの隆盛と衰退、そして濱田庄司によって民藝の流れに取り込まれて現在に至るという益子の産業全体の流れを知ることができ、大変勉強になった。益子焼や濱田庄司、後続の陶芸家達の作陶の特徴も興味深く2時間あつという間の講義でした。

2日目は昨日の極寒から一転、天気も温度も過ごしやすく、行楽日和。総勢34名で出発。想像していたよりバスも大型できれい。バスガイドさんまで同乗して、車上で川越、栃木や益子のガイドもしてくださった。途中ICに寄りながら約2時間半で目的地の益子陶芸美術館に到着。まずは企画展で開催されていた「松崎健一窯艶健の陶表現」を学芸員の磯



さんの解説のもと鑑賞。松崎さんがこだわっているという、釉薬ではなく土や灰、窯の調子で出す様々な紫、その過程で生まれた金色など興味深かった。また直径1m超えの大皿や子供が入れそうな大壺等は大物を作成する難しさを体感しているの、釉薬使いといい、感嘆するばかり。

常設展では濱田庄司作、後継の陶芸家の作も見られたが、思ったより民藝派の作品が少なかつたのは少し残念だった。移動しながら旧濱田庄司邸も見学。県内から移築してまで暮らしたという家屋は趣深く、登窯、薪窯などもまだ現役で使用しているというのも素敵だ。



昼食のあと、共販センターで湯呑茶碗絵付け体験を。青、黒、ピンクの三色のみということだったが久しぶりの絵付けにドキドキ。皆、思い思いに描いていた。

初めてのバス旅行付き美術教室。当初緊張していましたが、私と同じ1人参加の方もいらつしやつたので、皆様のおかげで楽しい時を過ごせました。ありがとうございました。(K・H様より寄稿)

例年、好評をいただいている木目込み人形講座を実施しました。来年の干支である「午」をコミュニティ事業委員の講師による丁寧な指導のもと作製しました。今回の「午」は耳としっぽのところ細かいパーツになっており参加者の皆様は少し大変そうでしたが、頑張つて取り組んでいました。とても可愛い出来栄で参加者の皆様も嬉しそうでした。

☆**実技講座「木目込み人形」**
木目込み人形でつくる干支の「午(うま)」
11月25日(火)・27日(木)
講師 代田区民センター
コミュニティ事業委員



午年も皆様にとって良い年になりますようお祈りいたします。(H・K)

役員会報告

8月6日(水)に開催され、役員全員の賛成により、左記の通り原案が可決されました。

2026年度事業提案

施設の使用に関する業務

- ① センターだより 年2回発行
- ② アンケート調査
- ③ 講座等の開催時に実施
- ④ 利用者懇談会
- ④ 児童館、図書館との連携事業

講座及び催物に関する事業

- ① コミュニティ講座
- ・植物教室(春と秋の2回)
- ・教養講座(3回)
- ・実技講座(3〜4回)
- ② センターまつり
- ・作品展示会、舞台芸術発表会(1回)
- ③ わくわく子ども教室事業
- ・わくわく科学あそび(2回)
- ・お年寄りに学ぶつどい(1回)

2026年度事業予算

3,018,500円

以上

【編集後記】

今年は午年、飛躍の年です。馬力をつけて頑張つて1年を乗り越えていきましよう。

(T・I)

